

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	資料係
■評価事業名称	図書資料整備事業		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	402100 - 002	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条、北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	市民の要望に応えられるよう、幅広く資料を収集する。一般書・児童書・映像資料・地域資料・逐次刊行物等を社会情勢、蔵書構成、市民ニーズを考慮しながら収集、整理、保存し、利用者に提供する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	新聞・雑誌	市民ほか	新聞・雑誌等の購入	新聞・雑誌等の閲覧用タイトル数141種 うち雑誌スポンサー29種
02	図書	市民ほか	資料の購入(寄贈除く) 図書資料 映像資料 地域資料	資料の購入(寄贈除く) 図書資料 7,155冊 映像資料 100点 雑誌 949冊 合計 8,204点

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	13,302	13,553	13,454	13,741	
人件費	9,575	12,064	5,707	10,225	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	22,877	25,617	19,161	23,966	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	受入冊数	9,725冊	8,763冊	8,670点	8,204点	1年間の図書・雑誌購入冊数(新聞は除く)
	貸出1冊当りコスト	60.5円	56.388円	41.588円	52.811円	フルコスト÷総貸出冊数
	受入1冊当りコスト	2,352円	1,520円	2210円	2,921円	フルコスト÷購入冊数
	総貸出冊数	377,900冊	454,298冊	460,733冊【中央・江釣子・和賀407,251冊自動車文庫7,966冊】		中央、自動車文庫、江釣子、和賀図書館の総貸出数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

各館毎の利用者層を考慮し、蔵書構成を組み立てながら資料の収集、整理を執行した。

問題点・課題等

資料単価が増加傾向にあり、冊数が減少している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

市民のニーズは変わらずある。資料の充実が市民サービスに直結するものである。資料費を確保し、よりニーズに合った蔵書構成を構築していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了